製品 REPORT

『スマート互換島』新投入 PS転換をトータル支援

エース電研の『スマート互換島』は、通常の島配置を変えることなく、P⇕Sの柔軟な互換性を実現する新たなプロダクトだ。

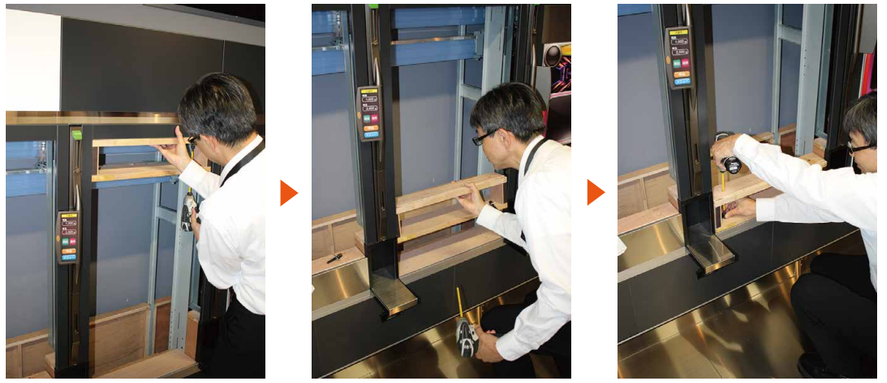
■共有ユニットを使用することでユニットを触らず、簡単にスマスロ⇔スマパチの変更が可能



『スマート互換島』は、このようなホールに適した島となっている。

1. 島の移動や遊技エリアの変更はほぼない。
2. 既存設置島との統一感を出したい。
3. 単体島よりも安価に設置したい。

■スマスロからスマパチへの転換手順（一例）



上部のカバーを専用キーで外した後、2箇所のビスを外し箱型の部品を下げて固定するだけ。これらの作業は、ものの数分で完了。特別なスキルも不要だ。また、狭い空間でも作業ができる点も特長となっている。

通常島の配置を維持 手軽なPS変更を実現

スマート遊技機の普及が進むなか、島設備には柔軟な対応力が求められている。そうした市場ニーズに応えるソリューションとして、エース電研が新たに投入したのが『スマート互換島』だ。同社の『イゾレッタ』シリーズに代表される単体島とは異なり、島配置をそのまま活かして導入コストを抑えつつ、パチンコ（e機）とパチスロ（L機）の互換性を実現できる点が最大の特長となっている。

ポイントは、島本来の基礎構造を踏襲しながら、遊技機を設置するユニット部分を可変式にした点。共通のユニットや搬送ラインを継続利用できるため、大規模な工事や機器の再構築を行うことなく、現場でスムーズなP⇕S転換を完了させられる。


営業本部本社営業部開発課
薩摩泰友主事

同社営業本部本社営業部開発課の薩摩泰友主事は、「イゾレッタは単体をベースに連結する仕様でしたが、スマート互換島は通常島の構造を踏襲し、PとSを入れ替え可能にした製品です。搬送ラインに変更を加える必要がなく、店舗様の営業戦略に合わせて島構成を柔軟に変更していただけます」と説明する。

さらに、新たな付加価値として加熱式たばこ専用『間柱投入式吸殻回収システム』（左・写真）の組み込みにも対応した。最小幅26㎜という極小設計の間柱投入方式を採用し、間柱を交換するのみで手軽に導入可能だ。回収部には実績のあるシーファースト社製の吸殻自動回収装置を接続。シンプルな構造で島端の回収BOXへと自動集積する。

「スマート化で島内部に空間的な余裕が生まれたため、間柱からの回収ルートをスムーズに通せるようになりました。大掛かりな改修なしに間柱交換だけで導入でき、足元もすっきり収まります。静音性やメンテナンス性も高いため、人手不足や業務効率化を図りたいホール様において、業務の負担軽減と環境改善を同時に叶えられます」（同）と作業負荷軽減を強調する。


吸殻は間柱の小さな穴に投入するだけ。後は島端に回収される。

自由な空間活用は『イゾレッタ』で可能に

そして、『スマート互換島』に、同社の単体島『イゾレッタ』シリーズ（『イゾレッタ』『イゾレッタEX』）を組み合わせれば、柔軟性はさらに向上する。島全体での柔軟なPS互換運用を『スマート互換島』が担う一方、局所的な増台や変形レイアウト、移設・再利用といったピンポイントの課題には『イゾレッタ』が力を発揮するためだ。

薩摩主事も、「規模や設備条件、営業戦略に合わせて双方を効果的に組み合わせることで、設備投資の費用対効果を最大化できます」と、同社ならではの強みを示す。

省力化と運用の柔軟性を高次元で両立する同社の島設備ラインナップの充実。今後の営業を力強く後押ししていきそうだ。

■フレキシブルな空間設計に最適なのは『イゾレッタ』シリーズ



導入店 REPORT

《マルハン川越店》の選択 決め手は運用面の柔軟性

《マルハン川越店》がエース電研の『スマート互換島』を導入。決め手は、将来的な営業の選択肢を広げるメリットだ。



カウンター横にレイアウトされたパチスロエリア。このエリアには全て『スマート互換島』が導入されている。

トレンドの変化へ即応『スマート互換島』の実力

スマート遊技機の普及が進むパチンコ業界において、市場環境の変化に対応する柔軟な店舗設計がホールに求められている。

そうした中、埼玉県川越市で圧倒的な存在感を放つ《マルハン川越店》は、次世代の店舗営業を見据え、エース電研の『スマート互換島』導入に踏み切った。

同店は、近隣の大学やアパート密集地帯、大型工場などが集積するエリアに位置しており、中高年層から若年層まで幅広い客層を惹きつける地域中核店舗だ。1149台という地域最大級のスケールを有し、遊技性のトレンドや需要の変化にいち早く対応することが店舗経営上の重要課題となっている。

そうした中で導入された『スマート互換島』は140台規模。従来の島配置を維持したまま、現在、スマパチとスマスロのエリアが交差する境目付近や新設エリアを中心に『スマート互換島』を組み込んでいる。


《マルハン川越店》の川村竜平店長(左)と小原直行マネージャー。

同じ島内で可能なスマートPSの転換

同店の川村竜平店長は「一番大きかった決め手は、スマパチとスマスロを同じ島内で運用・変更できる点です。従来のPS変更は、多額の経費と解体工事などの時間を要していましたが、この互換島であれば制約を最小限に抑え、お客様の利用状況や需要の変化へ即座に対応できます」と導入の理由を明かす。

単なる目先の課題解決にとどまらず、1年後や2年後といった将来的な営業を見据えたメリットも大きい。需要を事前に決め打ちすることなく、市場の流行や遊技台の進化に合わせて島設備を長期的に使い続けられる構造は、変化の激しい現代のホール経営において強固なアドバンテージだ。

また、新台入替やコーナー配置の見直しにおいても、設備面での物理的な制限を受けることなく、フレキシブルなレイアウト調整が可能となっている。

利用状況に応じて柔軟な空間演出が可能

小原直行マネージャーは、「例えば今後登場が期待される新機軸のパチンコなど、パチスロファンになじみやすい遊技機を互換島に配置したり、同一コンテンツのパチンコとパチスロを近接させて回遊性を高めたりと、お客様の利用状況に合わせた柔軟な空間演出が行えます」と今後の活用の可能性を力説する。

今後について川村店長は、「お客様の多様な遊技スタイルに合わせて心から楽しめる店舗づくりを目指したい」と熱意を表す。

変化に強い最新設備の導入は、同店が誇る集客力と多様なニーズへの対応力をいっそう強固なものにしていきそうだ。

■PSの境目付近に配置された『スマート互換島』





同店では、スマパチエリアとスマスロエリアの境目付近にも『スマート互換島』を配置。業界のトレンドの変化に応じてスムーズなP⇔S変更が実現できる環境を整えている。なお、上のスマパチの島の向かい側にはスマスロの島が配置されている。

INFORMATION

マルハン川越店

埼玉県川越市／1,149台(P600・S549)



www.ace-denken.com/products/ エース電研 03-3835-0171(代表)